

活動報告

団体名	神奈川災害ボランティアネットワーク
活動名	2018年7月西日本豪雨災害被災地支援のためのボランティアバス派遣事業
活動期間	2018年7月～2019年2月
活動の成果	<p>西日本豪雨災害の大きな特徴はその範囲が広範囲であったことにある。従ってどの被災地を支援するかという問題が大きな課題となったが、神奈川県からの災害ボランティアボランティアバスの派遣のギリギリの距離が岡山県総社市及び倉敷市までという判断により先遣隊を派遣し現地の状況を性格に把握した上で災害ボランティアのバス参加を募集することになった。現地ではそれぞれの災害ボランティアセンターと事前に緻密に連絡を取り合い現地の天候や被災状況の把握に努め参加した災害ボランティアの安全と活動の確保に神奈川にいるスタッフとバスに乗車したスタッフの連携を行った。災害ボランティアの募集はそれぞれ短期間であったが多くの参加希望者が神奈川だけでなく東京、埼玉、千葉、静岡からもあった。被災地での活動は猛烈な暑さがあったが安全に務め一部体調を崩す方も発生したが全員が無事に神奈川まで帰ることが出来た。被災地ではそれぞれの家の片付けなどに被災者の方々が立ち会いされ災害時の状況などを聞く機会もあった。日頃からの近所付き合いや防災への備えが大事であることが体験を通して認識することが出来た。これらを神奈川の防災・減災に生かしていきたいと考えている。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>今回の西日本豪雨災害では神奈川から岡山県総社市、倉敷市そして広島県呉市へボランティアバスを派遣するためにその費用をいかに確保するかということが大きな問題となった。神奈川から一人でも多くの災害ボランティアを派遣するためにボランティアバス借上げの費用を各方面に働きかけたがその目処はたらずとあえず自分たちの費用負担によりまず出発しようということになった。その意味で今回の助成金は大変ありがたく思っています。このような大きな災害時にはぜひ同様な支援をお願いしたいと思えます。</p>

(活動のようす)



